

令和8年度 芦安小中学校経営方針

■学校教育目標

地域に学び、夢を描き、自ら未来を切り開く児童生徒の育成

(目指す児童生徒の姿)

夢と希望をもち、主体的に学び行動し、感動することができる児童生徒
相互の信頼と自立によって、新しい価値を創造できる児童生徒
確かな学力・しなやかな心・健やかな体をもつ児童生徒
地域に学び、地域に貢献できる児童生徒

(目指す学校の姿)

- ◇ 質の高い学びを創造する学校
- ◇ 学ぶ環境を整え活力のある学校
- ◇ 地域・保護者ととともに歩み信頼される学校

(目指す教師の姿)

- ◇ 学び続ける教師
- ◇ 児童生徒を第一に考える教師
- ◇ 協働し、連帯する教師

■学校経営の基本方針

◆小規模校の特性をふまえて小中一貫教育を推進する。

◆地域連携を柱とした芦安郷育を推進する。

- 1 知・徳・体のバランスのとれた教育活動を推進する。
- 2 「主体的・対話的で深い学び」のある、児童生徒主体の授業づくりに努める。
- 3 地域に学び、郷土愛を育成するとともにSDGs・ESD教育を推進する。
- 4 心身ともに健康でたくましく生きるための基礎となる力を育成する。
- 5 家庭・地域との連携を深め、開かれた学校、信頼される学校づくりに努める。
- 6 教職員が心身ともに健康な状態で勤務できる環境づくりに努める。

芦安郷育とは・・・芦安地区の歴史・文化・伝統・人物・自然などについて体験や交流を通して学ぶ学習である。小中 9 年間で芦安地区の良さを認識し、自ら未来を切り拓く児童生徒を育成する。

■学校経営の努力点

1 学習指導の充実・学力の向上（知育）

- ①基礎的・基本的な学習内容の確実な定着に努めるとともに新たな課題を発見し、解決できる力の養成に努める。
- ②小規模校のよさを生かした個に応じた学習指導に努める。
- ③「やまなしスタンダード」をもとにした『あしやすスタンダード』の見直しを進め、授業改善に努める。
- ④言語活動や体験的活動等、学び合いを成立させるための工夫の充実に努める。
- ⑤家庭学習の意義を家庭と共有し、家庭と連携しながら家庭学習の充実に努める。
- ⑥「GIGAスクール構想」の推進（学習用端末の活用等）により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に努める。

2 心の教育の充実（徳育）

- ①チーム担任制をいかし、児童生徒理解を深め、個性を尊重するとともに個々の長所やよさを認めて伸ばす積極的な生徒指導を行う。
- ②諸活動を通して心のふれあいに努め、自己有用感や自尊感情を育む手立てを講じ、自立心や責任感、思いやりの心や奉仕の心を育てる。
- ③児童生徒理解や心の居場所づくりに努め、児童生徒が行きたいと思える学校生活を実現する。
- ④道徳の時間の充実と学校教育全体での指導を連携させて、道徳性を育てる。
- ⑤学校図書館の計画的利用を促進し、学習活動や読書活動を支援する方法を工夫する。

3 健康・体力の育成（体育）

- ①年間を通しての継続的な取組や登山活動及び部活動の充実により、体力の向上と心身の健全育成に努める。
- ②保護者・地域と連携して、望ましい生活習慣の形成を図る。
- ③地域や関係機関と連携しながら、健康及び安全教育の充実を図る。
- ④食育を積極的に推し進め、食に関する指導計画の充実と改善を図る。

4 地域との連携（連携・協働）

- ①日常の学習の中で、地域の教材化や地域人材の積極的活用を図る。
- ②地域及び市の関係機関と連携して、「協力・支援プログラム」を積極的に活用する。
- ③自然体験事業推進校として登山活動や学校林整備事業を推進する。
- ④地域に伝わる歴史や文化・伝統等について学ぶことや、太鼓活動を通して地域学習を推進する。
- ⑤ユネスコスクール加盟校としてSDGs・ESD教育への取り組みを推進する。

5 小中交流活動の推進（小中一貫）

- ①課題別の小中合同研究会を実施する。
 - ・一人一台端末の積極的活用を含めた個に応じた授業づくりを推進する。
 - ・実践的な研究会を年間計画に位置付け、小中全職員で取り組む。
 - ・小中9年間を通した児童生徒理解のための取組を推進・充実することにより、「中一ギャップ」の解消に努める。
- ②常勤のALTを活用した英語によるコミュニケーション能力の育成を推進する。
- ③小中9年間を見通した進路・生活・情報モラルの指導、保健指導、読書指導等を実施する。
- ④小中合同活動・行事を推進する。

6 その他

- ①校務分掌の見直しと小中学校職員の協働を推進して教職員の業務量管理を適切に行い、必要に応じて健康確保の措置をとる。

